

う蝕・歯周予防処置法

講 師	森 川 弥 之 中島真智子・牧山俊美	実施時期 単 位 数	第 1 学年前・後期 4 単位 （160時間）	実務経験	○
一般目標 (GIO)	口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識、技術および態度を習得する。				
授 業 概 要	歯科予防処置の基礎的知識について十分理解させ、その手技を習熟させるとともに応用の過程を習得する。				
学 習 方 法	講義・実習				
成績評価の方法	記述試験(定期試験)をおおよそ80%とし、残り20%は実技試験、課題、レポート、授業態度、出席状況等を総合して評価する。				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版				
履修上の注意	歯科衛生士にとって重要な知識と手技であり、臨床に出てからも応用できるよう十分理解し身につける必要がある。授業内容の予習・復習をして授業に臨むとともに、手技習得のための自主練習を怠らないなどの学習姿勢が求められる。				
参 考 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 「歯周病学」 医歯薬出版 中垣晴男他(編著) 「歯科衛生士のための歯周病予防処置法」 医歯薬出版 金子真弓、佐野明美(著) 「一から学ぶスクレーピング・ルートプレーニング」 医歯薬出版				

授業計画

[62. 65. 66 : 森川弥之]

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1	う蝕・歯周予防処置法の概要 【講義】	歯科衛生士法の法的な位置づけを説明できる。 歯科予防処置論の定義を説明できる。 歯周組織の構成要素を列挙できる。 口腔内の付着物及び沈着物を列記できる。
2	う蝕の基礎知識 【講義】	う蝕の分類を説明できる。 口腔内の補綴物・充填物の特徴と記号を列記できる。 修復物・補綴物を判断できる。 プラークや歯石の付着状況について説明できる。
3 4	口腔の基礎知識、基本姿勢、探針操作 【講義・実習】	正常な口腔の構成要素を説明できる。 歯周組織の構成要素を説明できる。 歯冠および歯根の形態を説明できる。 口腔の機能について説明できる。 エキスポローラーの種類と特徴を説明できる。 エキスポローラーの基本的操作ができる。
5 12	シクルスケーラーマネキン実習 【講義・実習】	手用スケーラーの種類と特徴を説明できる。 シクルスケーラーの操作方法を説明できる。 マネキン模型上でシクルスケーラーを操作できる。
13 14	シクルスケーラーシャープニング 【講義・実習】	シャープニングの原則および目的を説明できる。 スケーラーのシャープとDullの違いを比較できる。 シャープニングに必要な器材を準備できる。 砥石を用いてシクルスケーラーをシャープニングできる。
15 16	シクルスケーラー 【実技試験】	マネキンを使用し、与えられた部位を正確に操作することができる。 正しいポジショニングを実施できる。
17 18	口腔内診査 【相互実習】	歯・口腔の健康状態を診査できる。 修復物・補綴物を判断できる。 プラークや歯石の付着状況について診査できる。 患者に配慮し、正しい探針操作ができる。 患者の立場を理解できる。
19 24	シクルスケーラー 【相互実習】	患者に配慮したシクルスケーラー操作ができる。 スクレーピングの目的、意義について患者に説明できる。 患者を尊重した言動、操作を表現できる。 患者の立場を理解できる。
25	歯周病の基礎知識 【講義】	歯周病の分類と原因を説明できる。 歯周病のプロセスを説明できる。 歯周病に関連する指標を説明できる。
26 27	歯周組織の診査 【講義・実習】	プロービングから得られる情報を列記できる。 歯周プローブの種類と操作方法を説明できる。 マネキン模型上で歯周プローブ操作ができる。 マネキン模型上で歯間離開度と動揺度を診査できる。

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
28 29	歯周組織診査① (歯間離開度、動揺度検査、PMA診査) 【相互実習】	歯周検査の必要性和目的を説明できる。 患者に配慮した診査ができる。 患者の立場を感じることができる。 診査結果を正確に記録できる。 診査結果と口腔内状況を関係づけることができる。
30 33	歯周組織診査②(プロービング) 【相互実習】	歯周検査の必要性和目的を説明できる。 患者に配慮し、安全かつ正しいプローブ操作ができる。 患者の立場を感じることができる。 診査結果を正確に記入できる。
34 39	キュレットスケーラーマネキン実習 【講義・実習】	キュレットスケーラーの使用目的と特徴を説明できる。 キュレットスケーラーの操作方法を説明できる。 マネキン模型上でキュレットスケーラーを適切に操作できる。
40 41	歯周疾患の指標 キュレットスケーラーシャープニング 【講義・実習】	歯周病に関連する指標を説明できる。 シャープニングに必要な器材を準備できる。 砥石を用いてキュレットスケーラーをシャープニングできる。
42 43	キュレットスケーラー 【実技試験】	マネキンを使用し、与えられた部位を正確に操作することができる。 正しいポジショニングを実施できる。 マネキンを患者と想定し、患者への配慮を表現できる。
44 51	キュレットスケーラー 【相互実習】	スケーリングの目的、意義について患者に説明できる。 患者に配慮したキュレットスケーラー操作ができる。 患者の立場を理解できる。 術中、唾液や血液を排除し、施術部位を確認しながら操作できる。 術者、患者に配慮したアシスタントワークができる。
52 53	歯面清掃・歯面研磨 【講義・実習】	歯面研磨、歯面清掃の意義を列記できる。 歯面清掃器材の種類と使用方法を記述できる。 歯面清掃剤の種類と用途を記述できる。 マネキン模型上で歯面清掃器材を操作できる。
54 55	口腔内診査復習実習(合同TBI関連) 【相互実習】	歯周病に関連する指標を説明できる。 歯、口腔、歯周組織の診査ができる。 診査結果を患者に説明できる。 患者を尊重した言動、操作を表現できる。
56 61	歯面清掃・歯面研磨 【相互実習】	歯面研磨、歯面清掃の意義を説明できる。 歯面清掃器材の種類と使用方法を説明できる。 歯面清掃剤の種類と用途を説明できる。 患者に配慮した歯面清掃器材の操作ができる。 禁忌症などの注意事項を把握し、安全に配慮する。 術者、患者に配慮したアシスタントワークができる。
62 64	う蝕活動性試験 【講義・実習】	う蝕活動性試験の条件を説明できる。 う蝕活動性試験の検体と評価項目を説明できる。 う蝕活動性試験を実施できる。 検査結果を分析し患者説明ができる。
65 68	フッ化物応用、小窩裂溝・塞法 【講義・実習】	フッ化物薬剤の種類と取扱い方を説明できる。 フッ化物中毒量を説明できる。 小窩裂溝充填塞材の種類と特徴を説明できる。 マネキン模型上で小窩裂溝・塞を実施できる。 フッ化ジアンミン銀の取り扱い上の注意点を理解できる。
69 70	超音波・エアスケーラー 【講義・実習】	パワースケーラーの種類と特徴を説明できる。 超音波スケーラーの使用方を説明できる。 エアスケーラーの使用方を説明できる。 模型上で超音波、エアスケーラーを操作できる。
71 74	超音波・エアスケーラー 【相互実習】	パワースケーラーの目的・意義を説明できる。 患者に配慮したパワースケーラーの操作ができる。 患者の立場を理解できる。 パワースケーラーの準備、メンテナンスができる。 術者、患者に配慮したアシスタントワークができる。
75 80	学年末総合実習 【相互実習】	制限時間内に安全かつ正確な歯周組織診査ができる。 プロービング、スケーリング技術を自己評価できる。 術者保持のパキューム操作を実施できる。 患者に配慮したフッ化物歯面塗布法を実施できる。 フッ化物歯面塗布実施後の注意点を説明できる。 自らの技術を評価し、今後の課題を示すことができる。